

記入日：令和2年5月12日

1. 事業所名（事業名）

世田谷区立障害者就労支援センターすきっぷ

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

知的障害

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
10:00 ～ 12:00	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施
昼食					
13:00 ～ 16:00	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施 生活日誌の記入	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施 生活日誌の記入	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施 生活日誌の記入	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施 生活日誌の記入	電話確認（1日1回） 検温 課題の実施 生活日誌の記入

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
電話	体温や体調（本人・家族）、課題の取り組み状況等の確認。	5分	その日の状況確認ができている
課題	就職活動、ビジネスマナー（身だしなみ・面接時の注意点・敬語等）、生活（食事・家事・衣服の調節・公共交通機関のマナー等）、健康、国語（漢字・擬態語等）、計算、英語等の課題に取り組む。	時間の指定なし	これまでに、60枚ほどの課題を2回にわけて配布した。
生活日誌 パソコン	体温や体調、起床・就寝時間、取り組んだ課題、一日の様子等を記入（入力）。パソコン・メールが使える方は、事業所にデータ送信。	15分	その日の状況確認ができている

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- 1日1回の電話確認は、その日に出勤している職員が午前・午後にわけて行っている。利用者が電話の受け方を学ぶ機会にもなっている。
- 課題はまとめて自宅に郵送している。課題に取り組むことで、新たな気づきや復習、わからないことを自分で調べる等、良い機会となっている。取り組んだ課題はまとめて返送してもらい、職員が確認をして返却。一度に全ての課題に取り組む方もおり、継続的な準備が必要。
- 生活日誌の入力や提出をパソコンで行うことで、タイピングやビジネスメールの書き方等を学ぶ機会にもなっている。

②就職活動支援

- 希望の業種や労働条件を考える課題、ビジネスマナーについての課題を準備し、取り組んでもらっている。

③生活支援

- 生活日誌を準備し、体温や体調、起床・就寝時間を記入してもらっている。電話確認の際にも聞き取りを行い、利用者（家族）の健康状態の把握をしている。
- 外出をした際は、行き先や時間、誰と出かけたかを生活日誌に記録してもらい、感染が疑われた場合の感染経路がわかるようにしている。

④その他

- 利用者が理解しやすい新型コロナウイルスについての資料を配布し、理解を促した。
- 希望者に、臨床心理士との電話面談を行った。（行政から派遣されている臨床心理士。これまでは、事業所内で対面による定期的な面談を行っていた。）

5. その他

※参考になる資料等で掲載可能なものがあれば、添付いただければと思います。よろしくお願いいたします。

記入者： 西村・水谷